



水田転換畑に適した『秋冬作型白ネギ品種』 「大河の轟き」・「森の奏で」



概要

「大河の轟き」「森の奏で」は

- ★夏越し後の欠株が少なく生存株率が高い。
- ★肥大性に優れ、2L規格中心によく揃い、多収である。

各品種の特徴

	「大河の轟き」 	「森の奏で」 
生育特性	○ 生育期間を通して葉枚数が多い。 ○ 特に晩秋以降の肥大性に優れる。	○ 夏越し直後の肥大性に優れる。 ○ 収穫時の草丈<「大河の轟き」
品質特性	○ 襟部の締り=「関羽一本太」 × 収穫時の葉折れ>「関羽一本太」	× 襟部の締り<「関羽一本太」 × 収穫時の葉折れ>「関羽一本太」
雪害程度	△ 「関羽一本太」と同等以下。 (降雪前の収穫が望ましい。)	× 葉折れしやすく降雪前の収穫に適している。

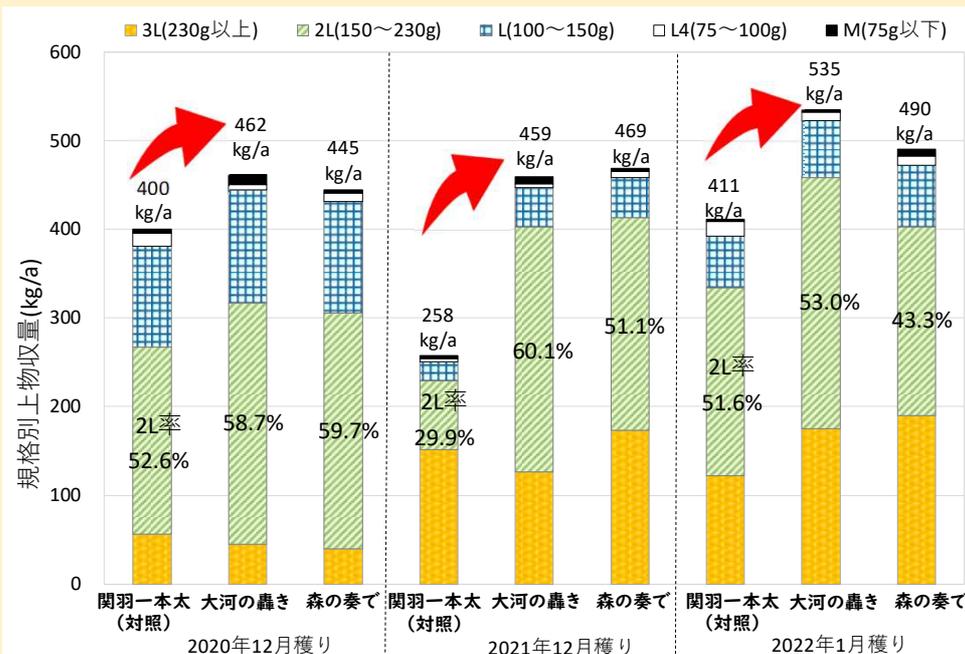


「大河の轟き」？「森の奏で」？どちらがよいのかな？

両品種とも収量性が優れていますが、降雪による葉折れが発生しやすいです。特に「森の奏で」は、その傾向が強いです。夏越し直後の肥大性に優れるので、「大河の轟き」より早めの収穫が期待できます。



収量特性



「大河の轟き」「森の奏で」は2L規格中心によく揃い多収である。

白ネギの生存株率の推移

	2020年 12月穫り ¹⁾			2021年 12月穫り ²⁾			2022年 1月穫り ³⁾		
	夏越前 (6/26)	夏越後 (9/30)	収穫時 (12/7)	夏越前 (6/28)	夏越後 (9/28)	収穫時 (12/10)	夏越前 (6/28)	夏越後 (9/28)	収穫時 (1/5)
関羽一本太 (対照)	100	86.1	82.2	98.8	46.6	43.8	100	79.3	76.1
大河の轟き	98.9	96.0	94.4	96.9	85.0	85.0	100	95.3	95.3
森の奏で	98.9	96.6	96.0	96.6	80.3	80.3	98.9	89.9	89.9

注) 1) 播種日: 3月25日 定植日: 4月30日 収穫日: 12月7日、2) 播種日: 3月11日 定植日: 4月28日 収穫日: 12月10日
3) 播種日: 3月25日 定植日: 5月31日 収穫日: 1月5日、定点(2m)を計測
生存株率は、2020年は(調査日の株数) / (5月29日時点の株数)、2021年は(調査日の株数) / (植付時の株数) × 100で算出

「大河の轟き」「森の奏で」は欠株が少なく生存株率が高い。

白ネギの生育状況

品種	2020年 12月穫り ¹⁾													
	夏越前(7/20)				夏越後(10/5)				収穫時(12/7)					
	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	葉折れ 発生程度	襟部の しまり
関羽一本太 (対照)	66.6	14.2	5.0	74.8	69.0	16.0	6.5	106.5	95.3	20.4	6.5	223.8	0	3.0
大河の轟き	63.6	14.5	5.5	82.1	67.8	17.8	7.7	118.6	100.5	20.7	7.2	269.6	0	3.1
森の奏で	66.4	14.0	5.3	74.5	69.5	17.7	7.4	112.4	96.2	19.8	6.1	233.7	1	2.7

品種	2021年 12月穫り ²⁾													
	夏越前(7/26)				夏越後(10/5)				収穫時(12/10)					
	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	葉折れ 発生程度	襟部の しまり
関羽一本太 (対照)	70.7	16.0	5.3	93.2	71.8	18.9	6.2	159.6	89.5	27.4	8.0	348.7	0	3.0
大河の轟き	74.8	18.1	6.3	133.2	77.2	17.9	7.6	151.5	93.5	22.6	9.0	312.6	1	3.0
森の奏で	75.6	17.8	6.3	127.8	81.4	18.7	6.9	182.6	93.2	21.3	8.4	316.0	2	2.5

品種	2022年 1月穫り ³⁾														
	夏越前(7/27)				夏越後(10/6)				収穫時(1/5)						
	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	地上部重 (g/本)	葉折れ 発生程度	襟部の しまり	雪害規 格率(%)
関羽一本太 (対照)	56.3	11.5	4.0	35.6	71.9	15.1	5.7	100.3	91.0	22.5	6.6	284.5	1	3.0	35.5
大河の轟き	55.6	12.3	4.2	36.3	66.7	14.9	6.8	90.1	95.5	20.7	7.9	311.6	2	3.0	34.7
森の奏で	56.4	11.6	4.2	37.2	72.6	15.3	5.9	111.8	92.0	21.3	7.2	295.3	4	2.5	56.4

注) 1) 播種日: 3月25日 定植日: 4月30日 収穫日: 12月7日、2) 播種日: 3月11日 定植日: 4月28日 収穫日: 12月10日、
3) 播種日: 3月25日 定植日: 5月31日 収穫日: 1月5日、1m掘り取り(収穫時のみ2m)、中庸10株3反復を調査
葉折れ発生程度: 2L規格から任意に選んだ20本のうち、3枚葉でない本数。襟部のしまり: '関羽一本太'を3とし、1劣~5優の平均値。
雪害規格率は上物収量に対する雪害特別規格(2022年1月6日出荷より適用)の割合

「大河の轟き」

- ★ 5.5 に注目!
生育期間を通して葉枚数が多い。
- ★ 14.0 に注目!
10月以降の肥大性も優れる。

「森の奏で」

- ★ 7.2 に注目!
夏越し後の肥大性に優れる。
- ★ 1 に注目!
雪害による葉折れが発生しやすく要注意。

利用上の留意点

- ★普及の対象は県内水田転換畑とする。
- ★農業試験場(標高10m, 細粒質普通低地水田土)における県東部慣行の栽培管理を行った結果である。
- ★「水田転作野菜栽培のための排水対策診断フローチャート」(2021年3月農業試験場作成)の診断により、額縁明渠と心土破碎を施工し適切な排水対策を施した上での結果である。
- ★「森の奏で」は、白斑葉枯症状がしやすい傾向があり、予防防除を徹底する。
- ★「関羽一本太」と比べ、両品種とも雪害により上物収量が減少する。特に「森の奏で」は葉折れやしわがしやすいため大雪前の収穫やバンド設置など適切な雪害対策をすることが必要である。

本書から転載複製する場合には必ず鳥取県農業試験場の許可を受けて下さい。

(お問い合わせ先) 鳥取県農業試験場 作物研究室 電話 0857-53-0721